



腕と顔を火傷し、一時、命を失いかけていたけれど、「呼吸ができたからこそ、今、生きてきている」と聞いて、私も「呼吸している」「生きていく」という幸せを感じました。命とは「宝物であり、財産である」と言っている。「死」が訪れて来るかは分らないけれど、命は自分で守り、大切にしたい。大切なことが重要だと思いましたが、戦争や核がないことだけではなく、「自分で考えていくことが平和につながる」といつていました。私にとって「平和」とは家族と暮らし、助けてくれる人がいて、支え合える仲間がいる生活なのではないかと思えます。そして、体験者からどんなこともやればできると、粘り強い根性、スタミナを持ち、前へ向かって生きていく力の大切さを学びました。二日間を通して、実際に自分の目で見て、原爆の怖さ、戦争時の悲惨な状況、そして今、私たちは平和に過ごすことができているすば

